

<参考> 「個別の指導計画」作成のメリットと活用の流れ

「個別の指導計画」を作成することで、以下のようなメリットが考えられます。

- 幼児児童生徒の全体像を的確に把握することができます。
- 指導の方向性や評価の視点が明確になります。
- 教職員間で情報の共有を図り、一貫した指導や支援を行うことができます。
- 保護者の方に、学校における指導や支援の内容や方法を明確に伝えることができます。
- 教職員の実践力の向上につながります。
- 校内委員会や事例検討の際の資料になります。
- 次年度への引継ぎの資料になります。

「個別の指導計画」の作成と活用の流れは、おおよそ次の図のとおりです。

